

いんさい

議会だより

No.183

2018. 2. 15

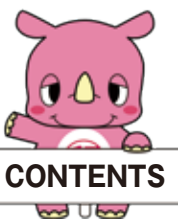
第4回定例会

会期 11月29日
～12月21日



めざせアスリート！

(印西小学校駅伝競争大会 / 松山下公園)



いんざい君 © 2011 Inzai City

- ～追跡調査～
新残土条例制定から一年 …… P2
- 議会改革推進特別委員会報告 …… P4
- 佐久市視察報告 …… P5
- 一般質問 (個人17人)・陳情 …… P6～15
- 各常任委員会の審査 …… P16
- 第4回定例会の議案と
審議結果一覧 …… P19
- 各常任委員会視察報告 …… P20
- 行政視察に来庁・編集後記 …… P23
- 市民の声・次回定例会のお知らせ P24

発行/千葉県印西市議会
TEL.0476(33)4614

編集/議会だより編集委員会
FAX.0476(42)5299

〒270-1396 印西市大森2364-2
メールアドレス gikai@city.inzai.chiba.jp

追跡調査!!

新残土条例制定から一年!!

新条例制定までの経緯

印西市は、千葉県の北西部、東京都心から約40km、千葉市から約20km、成田国際空港から約15kmに位置し、利根川や印旛沼、手賀沼に囲まれた標高20mから30mの台地部と湖沼周辺の低地部からなる緑豊かな街で、特に水田部の水辺や下総台地特有の谷津の風景は美しい景観を見せ市民の心を和ませています。

そのような美しい自然環境を有する市域ですが、数年前からは、市が都心に近く道路網も発達していることや谷津などの起伏のある地形が多いこと、さらには荒廃した農地が点在していることなどから、埋立事業が数多く行われるようになりました。

これまで、県・市は土砂等の埋立てを行う特定事業を、埋立て面積が3000㎡以上を千葉県が、3000㎡未満を印西市が、それぞれの条例で規制・指導してきましたが、埋立て行為は多くなるばかりで、市議会議員や市担当課のみならず警察にまで苦情が届くようになりました。市担当課である環境保全課が千葉県内初の刑事告発など

ともに、勉強会を開催し、市と問題点の共有を進めてきました。

議会の取り組み

平成28年3月8日

建設経済常任委員会勉強会

同年7月19日

建設経済常任委員会の先進地視察(四街道市)

同年9月21日

建設経済常任委員会勉強会

同年12月13日

建設経済常任委員会

同年12月21日

市議会 本会議にて、全会一致で条例可決

平成29年4月1日

印西市土地の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例施行

この結果、新条例は、事業の信頼性と安全性を確保するため、主に500㎡以上の埋立ての許可要件として、周辺住民の承諾や罰則の強化、改良土や埋立て資材・安全基準に適合しない土

も行いながら、取り締まりを強化しておりましたが、近年では、県及び市条例の土砂等の定義にあてはまらない改良土や埋立て資材を使った新たな埋立事業も行われるようになり、この改良土や埋立て資材が強アルカリ性で、さらに環境基準を満たさないものであったため、地下水を飲用水とする多くの市民等から健康被害や農作物・動植物への影響を懸念する声が寄せられていました。

新条例を本格的に検討

市環境保全課は、環境審議会の答申を踏まえ、「市内における複雑かつ無秩序な埋立て事業等を抑止し、さらに地下水を飲用水とする多くの市民の健康被害の防止と農作物や動植物の生育・生息する安心・安全な土壌の確保、豊かな自然環境や生態系を保全していく」ことを目的とした「新たな市条例」の検討を本格的に始めました。

市議会としては、議員それぞれが、県内の自治体の動向などを個別に調査・研究するとともに、建設経済常任委員会が県内の先進地である四街道市への視察を実施。より詳細な情報収集に努めると

砂等の使用を禁止、さらに事業者だけでなく、土地所有者の責任も明確化するなどの新たな方策を取り入れたものとなり、市議会ですべて全会一致により可決され、市独自条例として成立、印西市は「千葉県の残土条例」の適用除外市となりました。

なお、本条例を施行するにあたって、環境保全課では、警察官を1名増員、計2名とし、指導監視体制を強化しました。また、新条例のチラシを作成・配布し、周知徹底に努めています。

新条例、順調な滑り出し

平成29年4月1日の条例施行後、県内自治体からの問い合わせや視察が増えているようです。「残土問題」は、自治体にとって、共通した課題であり、住民の切実な思いに心えるためにも、行政として取り組まなければならない問題であるといえます。

なお、条例施行から11月までの実績は、埋め立て面積200㎡以上500㎡未満の届出件数が9件、500㎡以上の許可申請件数は0件で、特に問題もなく、順調な滑り出しをみせています。

議会に関する 市民意向調査の実施へ

議会改革推進特別委員会報告

今期の議会改革推進特別委員会は、平成29年6月22日に設置されました。設置後ただちに第1回の委員会を開催。平成29年中は7回の委員会を開催し、議会改革について継続して協議しています。

当委員会で最初に策定したものは、インターネット中継に関する要綱と要領です。これは平成29年9月1日から本会議に加え委員会のインターネット中継が始まることを踏まえ、インターネット中継のルールを明確にしたものです。

また、平成30年度実施に向けて予算が必要なものを抽出し、次の3点について、市側に対して予算要求を行っています。

- ① 議会に関する市民意向調査の実施
- ② 女性議会の実施
- ③ 議場・委員会室等のWiFi環境の整備

このほかにも、市民に開かれた議会改革を推進するために、委員会を毎月1〜2回程

度開催し、様々な観点から議会改革について協議を行っています。現在協議中の主な事項は市民意向調査の調査項目の抽出や市議会の先例・申し合わせ事項の整理などです。



議場のWiFi環境整備の様子

正副議長が視察研修へ

平成29年10月30日から31日に印旛管内7市議会の正副議長による視察研修会が、長野県佐久市において実施されました。

議会基本条例項目 要検討

佐久市議会での議会基本条例についての視察研修では、現在制定している佐倉市や成田市の意見の中で、地方議会の環境もめまぐるしく変化する中で現状にそぐわない条項も出てきている。策定する



道の駅ヘルシオテラス 佐久南

場合は、どのような項目を盛り込むかは先進市の事例を良く研究して、十分検討すべきであるとの意見が印象的でした。

知恵を出して補助金の活用

佐久市が取り組んだ事業で「道の駅ヘルシオテラス佐久南」の紹介がありました。この事業は、佐久市を通る中部横断自動車道が国の新直轄方式で通行料無料区間として建設されることになりました。この区間にはサービスエリアやパーキングエリアが無いということで、国道との交差点に道の駅をつくって、道路利用者の休憩機能を果たし、地域産業の活性化を図ることになりました。

この施設の概要は、「健康長寿」をキーワードに市内の新鮮野菜や加工品を販売するとともに、地元産の農産物を利用した伝統料理や健康メニュー等を提供するもので、太陽光発電設備・地中熱利用設備・蓄電池設備を備え、災害時には避難所や広域的な後方支援の拠点としての機能もついています。建物に、「市の木」であるカラマツを

ライブ中継・録画中継を実施しています



印西市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継及び録画中継を実施しています。委員会の録画中継を行っています。なお、録画中継は、通常4日後（土・日・祝日を除く）より視聴いただけます。

【アクセス方法及びFlash Playerのダウンロード】
※録画中継の視聴は、印西市ホームページから市議会そして市議会議中継とクリックしていただければ可能です。なお、Windows パソコンで視聴するには、Flash Playerが必要となります。Flash Player のダウンロード（無料）は市議会議中継のページから可能です。



市有林から伐採して活用した事業として多数の国・県の交付金をつけています。（財源：社会資本整備総合交付金、農山漁村進捗交付金、自然再生エネルギー関連、クリーンニューデール基金事業交付金、合併特例債、一般財源等）総事業費は約17億円ですが、一般財源としては1割以下であったと担当者は自負していました。ひとつの事業をエリア分けにして、複数の補助金をつけることで、補助金を増やしていることに感心させられました。

我がが市政を問う

一般質問

一般質問

平成29年第4回定例会では12月1日から4日間、17人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。
この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

個人質問

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 増田 葉子 ……P7 | 10. 岩崎 成子 ……P11 |
| 2. 稲葉 健 ……P7 | 11. 伊藤 真一 ……P12 |
| 3. 橋本 和治 ……P8 | 12. 櫻井 正夫 ……P12 |
| 4. 山本 清 ……P8 | 13. 山田 喜代子 ……P13 |
| 5. 軍司 俊紀 ……P9 | 14. 酢崎 義行 ……P13 |
| 6. 海老原 作一 ……P9 | 15. 浅沼 美弥子 ……P14 |
| 7. 金丸 和史 ……P10 | 16. 板橋 睦 ……P14 |
| 8. 小川 利彦 ……P10 | 17. 近藤 瑞枝 ……P15 |
| 9. 松尾 榮子 ……P11 | |

個人質問

構想をもって 新施設の整備を

増田 葉子 議員

質問1 合併前の旧印西市には「4 駅圏構想」という公共施設の整備構想があり、木下、小林、千葉ニュータウン中央、印西牧の原の駅圏ごとに、公民館、図書館、児童館などが整備されてきた。それから20年以上経過し、合併からも6年以上たった現在、人口規模を鑑み、改めて新たな構想をもつ必要はないか。

市長 将来的には人口が減少し、すべての公共施設を維持することが困難になると予想される。施設保有量の縮減に

取り組む必要があるもので、ご理解願いたい。

再質問 今現在、人口が増えているにも関わらず、将来の人口減少を理由にするのは理解できない。現在、人口が増えている地域で、ホールのような文化施設、集会所代わりとなるコミュニティ施設、児童館のような子育て施設は足りているという認識なのか。

企画財政部長 新たに必要となる施設は、既存施設の集約化と併せ検討する必要がある。

再質問 「新たに必要となる施設」は、どこで、どのような必要性を検討し決定するのか。公共施設の整備は、まちづくりの視点をもってされるべきで、保有量など数字で議論するものではない。改めて構想が必要とは思わないか。

市長 すべての公共施設を維持することは困難と予想されるので、ご理解願いたい。



個人質問

これでいいのか

中心市街地活性化事業 稲葉 健 議員

質問1 中心市街地活性化の事業は市民の為にどんなメリットがあったと考えるか。

企画財政部長 駅前機能の充実や、地域交流・地域活性化の拠点となる施設整備が実施できたと考えている。

再質問 おおきな滑り台（口ラーすべり台）はいつ使用可能になるのか。

答弁 平成30年4月予定。

再質問 昨年度設置して約1年間放置している理由について伺う。

答弁 大型重機による施工が必要となるため、3カ年工事

の工程上、平成28年度に整備する事になった。

再質問 私はこれこそがとても重要な問題だと思っている。確かに市にしてみれば、答弁のように「計画的に物事を運んでいるので問題がない」との事だが、市民の皆さんからみれば「せっかくなかったものをなぜ使えないのか、いつ使えるようになるのか」という疑問が出てくるのは当たり前。いつも市民目線を訴えている市長としてこの事はどう考えているのか。

市長 工程上、止むを得ないのでご理解頂きたい。



◆その他の質問

- インフルエンザ流行の件
- 印西伝統芸能フェスティバル
- 印西音楽祭
- 防犯カメラ補助金支給時期

学校給食の無償化と

里山の活用

橋本 和治 議員

個人質問

質問1 公明党は、政府に対し地方自治体における学校給食の無償化支援を提言した。国会においても、学校給食の無償化を主張している。一部の自治体で独自に学校給食の無償化に踏み切っているが、本市としても給食を無償化する考えはないか。

教育部長 市としては、食料費については、今後も保護者に負担をお願いしたい。

再質問 無償化するにはいくらかかるか。

答弁 保護者が負担している



食材費は平成29年度で約5億円になる。

再質問 文部科学省は学校給食の無償化に関する全国調査を始めた。市は無償化に向けて今後検討する考えはないか。

答弁 無償化する考えはないが、情報の収集には努めたい。

質問2 結縁寺の里山を活用した観光振興について伺う。

環境経済部長 市の里山は、市街地に隣接して伝統ある景観や伝承文化がたくさん息づいており、この素晴らしさを市としてPRしている。

再質問 同地区には景観を損なうようなガードレールがある。景観に配慮したガードレールに変更すべきではないか。

都市建設部長 このガードレールは交通安全施設としての機能は保たれているが、景観振興の点から、今後、景観に配慮したガードパイプ等への交換を検討したい。

在宅医療体制を整え、

地域包括ケアの周知を

軍司 俊紀 議員

個人質問

質問1 第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定について、地域包括ケアシステムの周知は充分か。

健康福祉部長 広報で特集を組み、将来像や市の取り組みについて掲載している。また、生涯学習まちづくり出前講座等で、市民に説明を行い、普及啓発として来年2月に市民向け講演会を予定している。

再質問 在宅医療・介護連携についてはどのようにすすめていくのか。

答弁 市内の医療機関や介護サービス提供事業者にアンケート調査を実施している。この調査で連携状況や、在宅医療の推進に関する課題を把握し、対応策などを検討したい。また、市民への情報提供として、介護と医療サポートガイドを発行しているが、この内容も随時見直したい。

質問2 介護保険2号被保険

者の制度の周知は充分か。

健康福祉部長 第2号被保険者が介護サービスを利用する場合は、法定のがん末期など16種類の特定疾病に該当することが前提となり、各医療機関との協力が不可欠。当該医療機関との連携を図りながら、制度の周知に努めていきたい。

◆その他の質問

○子ども・子育て支援事業（待機児童、学童保育、病児・病後児保育）

○全国学力・学習状況調査と市の教育（内申書の内容と保護者周知）

○千葉ニュータウン事業（中央二丁目二の落札に伴う教育行政、事業用定期借地権と企業の事業継続）

○放射能・放射線対応（除去土壌の管理）

○牧の原地区の要望

北総鉄道株主総会の後

市は何をしてきたのか

山本 清 議員

個人質問

質問1 北総鉄道の株主総会で市長が質問をして以来、市は北総線運賃値下げのためにどんなことをしてきたのか。

市長 北総鉄道の株主総会においては、私は市民の立場に立つて運賃値下げに向けた道筋をつくろうと努力したところだが、北総鉄道からの答弁は終始、「国の認可を受けている」の一言倒だった。前向きな話とはならなかったことは残念に思っている。

再質問 線路使用料協定の改定時期が近づいている。市と



して北総鉄道や京成電鉄にどのように働きかけていくのか。

答弁 今後も、協定の見直しを含め、運賃値下げについて粘り強く交渉していく。

質問2 教室に入れる机・イスの1昨年、昨年、今年の入札の結果、購入したセット数、セット単価を伺う。

教育部長 平成27年度は1120組で、1セットあたり20100円。28年度は1140組で1セットあたり19800円。29年度は1195組で1セットあたり8800円だった。なお、価格はすべて税込みの数字だ。

再質問 過去2年、条件をクリアしたメーカーは1社とその系列会社ではなかったか。

答弁 確かに1社だった。今年度は、競争性確保の観点から、パイプの形状を丸に限定せず、高さ調整ボードのカバーがなくても可、とした。

健康長寿は

特定健診受診と保健指導

海老原作 一 議員

個人質問

質問1 健康増進・食育推進計画の基本目標や行動目標の市民への伝え方はどうか。

市長 計画概要版を活用し、講話をしている他、市ホームページなどにも掲載し、広く市民に周知を図っている。

再質問 市民の健康づくりのためのイメージキャラクター「ナスちゃん」を更に活躍させてはどうか。

健康福祉部長 広報いんざいの最終ページや特定健診の受診勧奨などで使用している。今後も「ナスちゃん」を活用した健康づくりの啓発に積極的に取り組んでいく。

再質問 特定健診の受診率は。 **答弁** 受診率は、35・6パーセントで国、県平均よりもわずかに低い。

再質問 市民の健康課題は。 **市長** 男女ともメタボリックシンドローム予備軍の割合が高く、女性は糖尿病予備軍の

割合が高いという課題がある。

再質問 長野市のように訪問保健指導を導入してはどうか。 **健康福祉部長** 特定健診の会場で、個別指導対象者に保健指導できるよう準備している。

質問2 空き家等対策計画はいつ策定するのか。 **都市建設部長** 平成30年度の着手予定である。

再質問 空き家等対策に関する条例は制定するのか。

答弁 必要と考えている。空き家等対策計画と合わせ、検討していく。



印西市 健康づくりのマスコット「ナスちゃん」

個人質問

シテイセールス 土地処分の最終年度に向けて

金丸和史議員

質問1 市の知名度を上げるため、ポケモンGOを活用したイベント誘致をしては。

環境経済部長 ナイアンテック社では「20万人の集客に対する受入体制の整備」が条件として提示されている。イベントの開催は難しい。

質問2 平成30年度に、UR（都市再生機構）が最終年度を迎えるが、市の関連予算は。

都市建設部長 特定目的基金充当事業として、4路線分の道路整備事業がある。

再質問 残工事等は最終年度までに完了するのか。



LINEスタンプ

答弁 URと平成25年度に確認書を取り交わし、その確認書に基づいて計画的に整備等を行っている。

質問3 木刈中学校の生徒数増に対応できるのか。

教育部長 平成33年度には、教室に不足が出るので、増築等の検討を行う必要がある。

再質問 増築等の計画は進展しているのか。

答弁 できるだけ早期に設計原案を取りまとめ、予算化に向け、対応を進めたい。

再質問 プール、体育館、武道場、テニスコートをあらゆる観点から検討すべきでは。

答弁 ご指摘の通り、あらゆる観点から検討したい。

◆その他の質問

○LINEスタンプの活用

○防犯カメラ設置等補助金

○千葉ニュータウン中央駅付近の土地処分

個人質問

地域包括支援体制構築

AEDのコンビニ設置

松尾榮子議員

質問1 高齢・要介護等になっても安心して暮らせるまちづくりへ、地域包括支援体制構築について独居高齢、高齢者のみ世帯数の推移を伺う。

健康福祉部長 平成29年10月1日現在で独居高齢者は4059世帯、高齢者のみ世帯は4034世帯で、3年前と比べ30%近い増加率である。

再質問 認知症その他で闘病中の高齢者が在宅で過ごすには様々な面で不安にこたえる相談体制の取り組みを伺う。

答弁 介護・福祉・保健・医療などの相談には身近にある地域包括支援センターを利用してもらい、医療・介護のサポートには地域ケア会議を活用しながら、市民が住み慣れた地域でその人らしい生活を送れるよう支援していきたい。

再質問 在宅で万が一容体が急変した場合に必要な医療、介護の連携体制はどうか。

答弁 かかりつけ医を中心に専門医療機関、訪問看護、歯科医師、薬剤師など医療関係者と介護サービス事業者の連携が図れるよう努めていく。

質問2 平成25年12月議会ほかでもAEDのコンビニ設置を進めていくよう提言してきたが、現在までどのような検討をしてきたのか。

健康福祉部長 平成28年度には茨城県龍ヶ崎市を訪問し、コンビニや市施設へのAEDの設置状況等を視察、29年度は白井市に伺い協定内容等を確認し、現在30年度からのAED設置に向けてセブンイレブン・ジャパンと協議を行っている。

◆その他の質問

○千葉ニュータウン関連課題（グッドマンジャパン利便施設）

○公共施設の再利用・跡地利用（永治小学校）

個人質問

印西市は農業問題に 寄り添うべきだ

小川利彦議員

質問1 土地改良法が改正され、農地中間管理機構が借り入れている農地は、農業者の費用負担や同意を求めずに基盤整備事業が実施できることとなったが、どのような制度となっているか。

環境経済部長 担い手への農地の集積・集約化を加速化するため、農地中間管理機構が借り入れていく農地は、農業者からの申請によらず、都道府県が農業者の費用負担や同意を求めずに区画整理などの基盤整備を実施するものだ。

質問2 市としての農業政策の将来を伺う。

市長 農業の現状としては、米価をはじめとする農作物の価格の低迷など、農業経営環境は厳しさを増しており、農家数の減少、後継者不足、遊休農地の増加等が深刻な問題となっている。市としては、重点施策として「生産基盤の

整備や担い手の確保による持続可能な農業の実現」のための取り組みとして、土地基盤整備事業・農業経営基盤強化促進事業・耕作放棄地解消事業・農地中間管理事業・新規就農促進事業などを引き続き実施していきたい。

質問3 印旛中央地区の今後を伺う。

市長 印旛中央地区については、総合計画や新市基本計画に示されているとおり、事業が促進されるよう、支援していきたい。



個人質問

公共交通の充実

岩崎成子議員

質問1 デマンド交通の進捗状況について伺う。

企画財政部長 喫緊の課題は、交通不便地域の解消であると考えている。現在、運送事業者と具体的な検討を行っている段階である。最寄りの交通機関及び公共施設までの移動が困難な方を念頭に置いたデマンド交通の実証実験実施に向けての検討を進め、実現を図っていききたい。

質問2 師戸地区を縦断する「市道瀬戸・師戸線」へのふれあいバス運行の認識を伺う。

企画財政部長 師戸地区においては、ふれあいバスではなく、民間の路線バスの運行を考慮しており、バス事業者と協議をしているところである。

再質問 協議の進捗状況は。

答弁 平成30年度中の運行開始を目指し、事業者とルート設定や運行経費等、具体的な

課題等を協議している。

質問3 印旛支所から印西市役所へのふれあいバス運行についての認識を伺う。

企画財政部長 ふれあいバスは、本格運行後、約20年が経過し、運行に関する要望が増えて総合的な見直しが必要である。平成30年度から行う予定の総合的な見直しの際に検討していく。

◆その他の質問

○広聴事業の充実（市政ポスト、市長談話室、市民満足度・重要度調査）

○障がい者福祉の充実



介護労働者の労働環境を改善するべきだ

伊藤真一 議員

個人質問

質問1 市として、介護労働の実態を把握する必要があるのではないかと。

健康福祉部長 労働条件については、市が所轄している社会福祉法人等から提出される就業規則・給与規定等により把握しているが、労働状況については、指導・監督権限がないので把握していない。

再質問 介護労働者の処遇改善は、労働者だけでなく利用者とその家族へのサービスに



大きく関わっている事からも、市として積極的に改善に取り組む必要があるのではないかと。

答弁 介護労働者の処遇については、現在、国において介護保険制度の改定とともに、介護報酬の引き上げ等の改善策を検討中なので、今後も国の動向を注視していきたい。

再質問 「地方公共団体は、介護労働者の福祉の増進を図るために必要な施策を推進するように努めるものとする」と法律にあるが、どのように考えているのか。

答弁 当該地方公共団体は千葉県が担当することになるが、市としても県から情報を得て、改善に努めていく。

◆その他の質問

- 農業発展の環境整備
- 通学路として歩道橋の改善

有害鳥獣の駆除

櫻井正夫 議員

個人質問

質問1 有害鳥獣で特にイノシシの被害状況は。

環境経済部長 水稲については一年を通して被害を受けている。畑作については、夏はトウモロコシ、秋は、栗、柿、イモ類、落花生等、春はタケノコの被害がある。

再質問 受身の対策を取っている農家は、作付けをあきらめ耕作放棄地が増す気がするが、先進地である市原市等の事例を参考に推進してはどうか。

答弁 市では地域ぐるみで捕獲している町内会に狩猟免許取得補助、わな購入費補助、捕獲交付金、小型獣用箱などの貸与等をしている。



国の補助金の掘り起しを

酢崎義行 議員

個人質問

質問1 伊西市の財政の特徴は、歳入面で地方税が多く、財政豊かなイメージがあるが市民一人当たりの歳入合計を他の類似団体（人口、産業構造が似ている自治体）と比較した場合の評価を伺う。

企画財政部長 主に地方交付税、地方債、国庫支出金、県支出金などの依存財源が下回っている状況である。

再質問 市民一人当たりの歳入で、地方税・地方交付金が中心となる一般財源としては、地方税が圧倒的に多い代わり地方交付税が少ない。

結果、横並びとなる。国庫支出金・県支出金（国・県の補助金）が中心となる依存財源が他より少ないため、合計で少なくなると分析される。補助金の掘り起しはどのようにしているか。

答弁 予算編成方針において、補助対象となるものは積極的



に活用するとしている。

再質問 今後の財政運営は。市長 厳しい財政運営が続くが、必要な市民サービスの水準を確保しつつ、市民満足度の向上を図りながら、財政運営の健全性を確保していく。

◆その他の質問

- 市道001122号線（松崎吉田線）の進捗状況

住宅リフォームの充実で地元業者の活性化を

山田喜代子 議員

個人質問

質問1 住宅リフォーム制度については、4年間の受付件数690件に対し交付は327件。363件が抽選に外れている。申し込み全員を対象とすべき。予算は3630万円可能だ。一方で企業立地奨励金交付事業には11年間で15億円近くが企業に交付されている。市内業者とニュータウン進出企業への対応はあまりにも不公平だ。リフォーム制度は居住環境の充実、市内業者の活性化に効果がある、というなら3630万円を予算計上すべきだがどうか。

市長 私の公約でもあるので国の交付金の増額を求めている。

質問2 平成20年には見られなかったイノシシの増加で農作物被害が増えているが、被害状況を伺う。

環境経済部長 平成22年から28年まで水稲、芋類、野菜（たけのこ、豆類）で被害額は、

2975万円だ。

再質問 イノシシ被害に対し市からの支援はあるのか。

答弁 全国農業共済協会の共済制度では、被害が筆毎に3割以上の減収があった際に対応している。

質問3 聴覚障がい者の福祉について、市内3つの団体から「お願い」の文書が提出されている。どう実現する考えかを伺う。

健康福祉部長 手話講習会は引き続き実施し、市職員への手話普及の必要性は理解しているので検討する。

質問4 UR（都市再生機構）事業所について、市はURに建物改修費用と土地の無償提供を求めているのか。

市長 適正価格なら購入する。

- ◆その他の質問
- 本笠第一小学校、本笠第二小学校の統合
- 戦没者追悼式の検証

年度末に集中する

道路工事の平準化は可能

浅沼美弥子 議員

個人質問

質問 道路工事の稼働件数は、**都市建設部長** 平成28年度2月から3月に最多の16件、4月が最小の3件。

再質問 現状での問題点は、

答弁 施工時期の集中により人材や資機材の需要の偏りによる入札不調や不落。また、発注の事務作業が一時期に集中することによる担当職員の負担増などである。



再質問 国からの改善要請は、**答弁** 平準化を推進することが求められている。

再質問 具体的な方策は、**答弁** 工期が12カ月未満の工事について債務負担行為の活用による方法が考えられる。

再質問 千葉市では道路工事の平準化を実現し、下水道系の工事にも広げる予定だ。債務負担行為の活用で年度当初の工事が可能となる。特別な予算もいらない。国からのお墨付きもある。当市でも実現可能だ。市長の見解を伺う。**市長** 発注者、事業者双方にメリットがある。課題を整理し先進事例を参考に道路工事の平準化に努めたい。

◆その他の質問

- かりつけ薬局の普及啓発
- キッズウィークの導入
- 受動喫煙防止対策

オムツ処分を保育園で

保護者保育士負担軽減

近藤瑞枝 議員

個人質問

質問1 救急医療情報キット配布事業の現況を伺う。**健康福祉部長** 印西市、白井市、印西地区消防組合の3者で、キット活用と運用に関する調整をしている。

再質問 効果的活用のため、情報更新や記入方法の検討をしているか。**答弁** 充実に努める。

質問2 全国23%の自治体の実施している高齢者等へのみ出し支援について、今後の計画を伺う。**健康福祉部長** アンケート調査を実施し、本市にあった支援の仕組みづくりを「直接支援型」、「コミュニティ支援型」双方から検討していく。

質問3 保護者・保育士の負担軽減のため、使用済みオムツは保育園で処分するように改善するべきではないか。**健康福祉部長** 衛生面、保管場所の調整をして検討する。



再質問 調整後に実施するとうり理解でよいか。**答弁** 実施に向けて検討する。

質問4 特別支援学級の学習指導員・介助員の勤務体制についての考えを伺う。**教育部長** 現在の週3日から4日の体制は見直しが必要であり、次年度から改善を図る。

再質問 最低でも、週何日、週何時間が必要と考えるか。**答弁** 週5日、週30時間の勤務が望ましい。

個人質問

旧印西消防署跡地と

印西警察署の耐震化工事

板橋睦 議員

質問1 旧印西消防署について、解体工事の進捗状況は、**市長** 現在は消防署建屋の解体が完了し、防護シートと仮設足場が外され、12月からは建屋基礎部分の撤去に取りかかっている。

再質問 印西警察署との情報交換についてはどうか。**答弁** 消防署跡地の借用について3回打合せを行っている。印西警察署庁舎の耐震化工事を平成31年から32年に計画していることから、仮設駐車場及び仮設庁舎の用地として、消防署跡地を一時的に使用したいとの話があった。今後は使用面積や使用形態について話があると思う。

再質問 文化ホールなどで大きなイベントがあると市役所駐車場が満車になってしまう。消防署跡地を警察署に貸した上で残地があれば、市役所駐車場として活用する考えはな

いか。

総務部長 印西警察署と協議をする中で、借用面積が具体的に変わったら判断する。

再質問 耐震化工事後の印西警察署は、今後何年間使える施設なのか。**答弁** 現時点においては耐震化工事後の使用年数は明確には答えられないと聞いている。

再質問 地域の人たちは印西警察署が現在地に残って欲しいと願っている。印西警察署から申し出があった場合、消防署跡地を譲渡できるか。**答弁** 消防署跡地は普通財産であるため、譲渡が可能である。

◆その他の質問

- 人口10万人突破
- 公園、街路樹の管理
- 旧永治小学校

陳情

▼受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情書
〈議員配布〉

▼「千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書」の提出を求める陳情
〈議員配布〉

▼印西市における、受動喫煙防止対策に関する陳情書
〈議員配布〉

▼受動喫煙防止対策についての陳情書
〈議員配布〉



陳情・請願

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、受付を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成30年第1回定例会（3月議会）で予定されている一般質問（代表・個人）の内容は、2月13日（火）以降、ホームページに掲載しています。

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。
11月30日に予算審査常任委員会（補正予算）、12月11日に総務企画常任委員会、12月12日に文教福祉常任委員会をそれぞれ開催しました。
ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

職員の育児休業に関する条例の一部改正

総務企画常任委員会

職員の子供の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

【内容】 雇用保険等の一部を改正する法律の施行等に伴うもの。

印西市税条例の一部を改正する条例の制定

【内容】 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律および地方税法施行令の一部を改正する。また、入湯税の課税免除対象者を近隣の状況及び国からの通知等を考慮し入場料及び年齢要件を追加するもの。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

【内容】 人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に準じて給与月額、地域手当の支給割合及び勤勉手当の支給月数を改める等の改正を行うもの。

【審査結果】

- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市税条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉



「就学援助」の入学前支給が可能に

予算審査常任委員会

一般会計補正予算

【内容】 歳入歳出に10億2470万7千円を追加。総額335億6741万7千円に。

■ 主な歳入

- 障害者自立支援給付、児童手当給付、幼稚園就園奨励費、生活保護、子ども医療費助成などの実績見込みによる国・県からの補助金等の補正。

■ 主な歳出

- 事務所3棟にかかる固定資産税、都市計画税の課税誤りによる還付金（4億3309万8千円）
- 民間保育園の保育委託料（2億2652万4千円）
- 障害者自立支援（1億5562万6千円）
- 生活保護医療扶助費（9130万9千円）

問 高等学校等入学支援事業（※）の400万円について伺う。

※経済的に困窮している世帯に属する子が、高等学校に入学する際、その保護者に対し入学に要する経費の一部を支給する制度。

答 対象は中学3年生で標準保護の生徒。1人10万円で40人分。入学前の中学3年時の支給に変更するため補正をお願いする。

問 就学援助事業170万7千円について伺う。

答 印西市立中学校に入学するための入学準備金（対象は標準保護者）10月1日現在小学6年生35名。1人あたり4万7400円。入学前の支給に変更。

国民健康保険特別会計補正予算

【内容】 歳入歳出に450万円を追加。総額は97億1508万7千円に。

下水道事業特別会計補正予算

【内容】 歳入歳出に1594万7千円を追加。総額は16億7026万7千円に。

介護保険特別会計補正予算

【内容】 歳入歳出に120万2千円を追加。総額は51億8096万4千円に。

【審査結果】

- 平成29年度印西市一般会計補正予算（第5号） 〈可決〉
- 平成29年度印西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 〈可決〉
- 平成29年度印西市下水道事業特別会計補正予算（第2号） 〈可決〉
- 平成29年度印西市介護保険特別会計補正予算（第3号） 〈可決〉

平成29年第4回定例会 全会一致(可決・承認)議案一覧

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

番号	件名
《議案》(市長提出議案)	
承認第1号	専決処分の承認を求めること
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第2号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定
議案第3号	平成29年度印西市一般会計補正予算(第5号)
議案第4号	平成29年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第5号	平成29年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
議案第6号	平成29年度印西市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第7号	財産の取得
議案第8号	指定管理者の指定
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第10号	和解及び損害賠償の額を定めること

子どもたちに安心安全な放課後を

文教福祉常任委員会

財産の取得

【内容】小学校19校の第1学年分として1195組の机と椅子を白井市の株式会社ハタヤから税込み1135万7280円で取得する。毎年度1学年ずつ更新していく9カ年計画の3年目である。

問 今年度は、単価が昨年度の半額以下になった。理由をどのように捉えているのか。

答 脚部の形状とねじの位置などの条件を仕様から外したことが要因の一つと考えられるが、金額に関しては入札の結果である。

指定管理者の指定

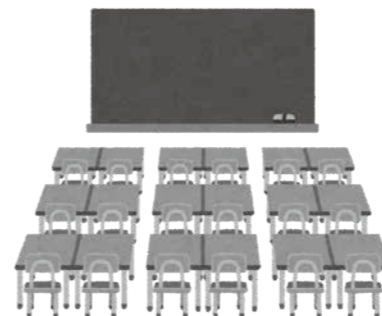
【内容】牧の原学童クラブの指定管理者に、特定非営利活動法人ワーカーズコープを平成30年4月1日から35年3月31日までの5年間指定する。

問 「指定管理者の導入に関する事務指針」では、総合評価の結果が優秀な事業者の場合、1回に限り5年を限度に再指定できるとしている。指定期間を最長の5年間とした理由は、モニタリングの総合評価が優秀であったからか。

答 その評価に基づいて5年と決定した。

【審査結果】

● 財産の取得 <可決>
● 指定管理者の指定 <可決>



会議録がインターネットなどで閲覧できます。



市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、会議録は次の場所で閲覧できます。

第4回定例会の会議録は、2月下旬頃閲覧開始予定です。

◇議会事務局(市役所5階) ◇行政資料コーナー(市役所1階)

◇支所(印旛・本埜)

◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)

印西市議会 会議録 検索

議会だよりを「マチイロ」で!

スマートフォンなどで使えるアプリ「マチイロ」で議会だよりと広報いんざいをいつでも、どこでも読むことができます。



QRコードからダウンロードできます。

※このアプリケーションは(株)ホープが作成したものです。広告が掲載されますが、印西市とは関係ありません。

マチイロの利用やシステムの質問は(株)ホープ(☎092-716-1404)。

■始めるのは簡単です

App Store・Google Playから「マチイロ」を検索しダウンロード。

お住まいの地域のほか、簡単な設定をします。

広報紙が画面のトップに表示されます。最新の広報紙も配信されます。

■こんな使い方もできます

① **かんたん** ホーム画面からタッチ一つで最新号が見られます。

② **スクラップ** 気になる記事は画像で保存。そのままSNSでシェアもできます。

③ **プッシュ通知** 発行日にはスマートフォンなどに通知が届きます。

地域活性の核となる
公共施設の活用を

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会では、10月17日から19日の日程で、岩手県盛岡市、青森県八戸市及び山形県天童市を訪問し、視察研修を行いました。

盛岡市では、「女性視点による被災者支援」について研



交流と創造の拠点
八戸ポータルミュージアム（愛称：はっち）

修しました。特に平成23年に発生した東日本大震災の支援に際しての具体的な取り組みを伺い、女性の視点からの被災者支援の重要性を再確認しました。

八戸市では、①パスポートの発券業務について視察し、本市で平成30年から実施を予定しているパスポート発券業務の参考になりました。②八戸市の新たな交流と創造の拠点として2011年2月にオープンした複合型公共施設の八戸ポータルミュージアムを視察しました。利用者は毎年増加し、近隣の商業施設も建て替えを行うなど、地域活性の核となっています。本市に



においても既存の公共施設の活用を考える上で参考にしたいと思います。

天童市では、「ふるさと納税」について視察しました。返礼品の豊富さのみならず、様々な工夫により納税額をのばしている取り組みは大いに参考になりました。本市においても、物品に頼らない返礼品や寄付を募ることのできる政策の策定などに取り組むべきと感じました。

平成29年10月19日から20日に行った行政視察には、委員5名、健康福祉部参事・健康福祉部高齢者福祉課課長、事務局1名が参加しました。

四日市市は、「地域包括ケアシステム構築へ向けた取り組み」について、独自の在宅



住み慣れた地域で
自分らしい暮らしができる街づくりを

文教福祉常任委員会

支援介護センターと地域包括支援センター、市の「三層構造」の仕組みを維持しています。今回の視察では、市からの説明の後、日常支援体制の構築として地域社会づくりに向けた取り組みのひとつの施設に実際にお伺いし、生の声を聞く事が出来ました。印西市は地域包括ケアシステムを構築していく初期の段階です。在宅医療・介護連携については、システムが構築されつつある状況です。このような先進地の事例を取り入れて、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる街づくりの為に地域医療、福祉関係機関の協力体制の強化に努めていきたいと思えます。

富士宮市は、約4世帯のう



地域包括ケア推進事業
富士宮市の取り組み
富士宮市福祉総合相談課

ち1世帯が高齢者だけの世帯、8世帯のうち1世帯が高齢者独居世帯。4人にひとり65歳以上という超高齢社会です。そのような街で誰もが住み慣れた地域の中で安全に安心して暮らせる街づくりを目標に掲げ、高齢や障がい等の理由で支援が必要になった時の支援システムとして福祉総合相談窓口を設置しました。印西市においてもこのような支援を必要の人に適切な支援をスムーズに実施できるように取り組みをしていきたいと思えます。

政務活動費収支報告の閲覧

領収書を含めた各会派の政務活動費収支報告書は、市役所1階行政資料コーナー（平成25年度分～）及び市議会ホームページ（平成27年度分～）にて閲覧できます。

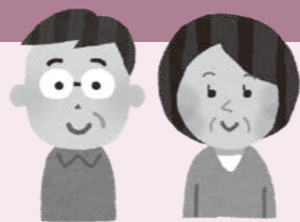


「市民の声」を募集中

議会だより編集委員会では、市民のみなさんから議会の活動等について、ご意見や感想をいただく「市民の声」を募集しています。

ご協力いただける方は、議会事務局までご連絡ください。

【印西市議会事務局】☎0476(33)4614



森林セラピーで

ここからからだを健康に
建設経済常任委員会

平成29年10月25日から27日まで、委員7名、執行部2名、事務局1名で大分県別府市、中津市及び福岡県篠栗町を訪問しました。

別府市は、人口約12万人の都市です。平成25年の住宅土地統計調査によると、空き家率は約17%で全国平均と比較し、高い状況にあります。

「空き家対策条例について」、14項目に渡り、質疑を行い、長年、市民を不安にした倒壊寸前のアパートを平成28年に略式代執行した事例を交えて、説明をうけました。

中津市は、人口約8万人の都市で、「農業の6次産業化」を推進しています。独自の「なかつ6次産業推奨品制度」を

導入し、山、川、海と自然を活用した「しいたけ」「ベタの一夜干し」「天然オイル」などを認定しています。大分県、農協、漁協や森林組合と協力し、推進協議会を立ちあげて事業を推進しており、今後の課題は販路の拡大であるとの説明もありました。



SNSで話題となっている篠栗九太の森の沼杉

篠栗町は、福岡市に隣接する人口約3万人のベッドタウンで、「森林セラピー」の認定基地となっています。お金のかわからない自然を活かした無理のない試みです。特に九州大学所有の敷地1周20kmを散策するコースは平日にもかかわらず、多くの人が訪れていました。実際にコースを案内していただき、森林セラピーを体験することができました。本市においても、「草深の森」の利用頻度拡大に多いに参考になりました。

大阪府熊取町議会
「事業厚生
常任委員会」が

視察に来庁

平成29年10月31日(火)、大阪府熊取町議会 事業厚生常任委員会の議員8名が視察に訪れました。

視察内容は、「いんざい健康ちよきん運動」についてでした。

文教福祉常任委員会増田委員長から歓迎の挨拶、高齢者福祉課から事業説明を行い、ちよきん運動を実際に体験していただきました。



「いんざい健康ちよきん運動」にチャレンジ

北海道岩見沢市議会
会派「市民クラブ」が

視察に来庁

平成29年11月7日(火)、北海道岩見沢市議会 会派「市民クラブ」の議員9名が視察に訪れました。

視察内容は、「議場システム」及び「予算審査常任委員会」についてでした。

藤代議長から歓迎の挨拶、議会改革推進特別委員会橋本委員長が、予算審査常任委員会設置の目的及び設置に至るまでの経緯等を説明しました。

その後、議場において、議場の特徴や表決システム等について説明を行いました。



賛否状況がひと目でわかる表決システム(右)

編集後記

平成29年第4回定例会は、11月29日から12月21日まで開催され、承認1件・議案10件について審議され、全会一致で、承認・可決されました。

1月には、議会だより編集委員会の視察研修を行いました。この研修を活かし、市民の皆様が、見やすく、分りやすい議会だよりとなるように、努めていきます。

立春とは申しませんが、まだ寒さ厳しい日が続きますので、皆様におかれましても、ご自愛ください。
(伊藤)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 伊藤 真一 |
| 副委員長 | 海老原 一作 |
| 委員 | 稲葉 健 |
| 委員 | 小川 利彦 |
| 委員 | 玉木 実 |
| 委員 | 米井 重行 |
| 委員 | 浅沼美弥子 |

訂正とお詫び

議会だより182号(11月15日発行)の2ページ、平成28年度一般会計歳入歳出決算概要の下端、水道事業会計の表中に誤りがありました。

お詫びを申し上げます。とともに、左記のとおり訂正いたします。

水道事業会計		
資本的収支	歳入	697万円
	歳出	9,442万7,902円
	差引額	△8,745万7,902円



「いんざい議会だより」の一面に掲載する写真を募集しています。

【題材】 印西市の四季折々の風景 【応募資格】 市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】 ☎0476(33)4614



市民の声

『選挙権ついて』

千葉県立

印旛明誠高等学校
3年 大山 祐生



昨年度学校で行われた模擬選挙で私が感じたことは、普段の授業とはまた違う緊張感があった、ということですね。いつものように先生の話をよく聞き理解するのは違い、一人一人がいずれなる有権者としての自覚を持ち、少し先の未来について考え、投票していると感じたからです。そのとき私は開票作業を体験したのですが、工夫された票の仕分け方や、複数人で票数を何度も確認するといった丁寧さがとても印象に残り

ました。また、その方法を教えてくださった市の選挙管理委員会の方も真剣そのもので、しっかりと一つ一つの票に向き合っているのだと思いました。

選挙についての説明の中で私が注目したのは、若い年代ほど投票率が低い傾向にあるというデータでした。私は、若者の投票率を向上させていくには、選挙公約をどこまで実現できるか、市民の暮らしに反映させることができるかが重要だと強く考えます。選挙公約を実現することができないと「どうせ投票しても何も変わらない」という思いから、政治家と有権者との間の信頼が崩れ、政治に対するあきらめが生まれてくると思うからです。私はまだ若輩者ですが、有権者の一人としてしっかりと向き合おうと思います。

議会を傍聴してみませんか

第1回 定例会会期予定及び日程

次の定例会は、2月19日(月)～3月20日(火)までの会期予定です。

午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合もあります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】

☎ 0476(33)4614



いんざい君©
2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9 議会運営 委員会	2/10
2/11 建国 記念日	2/12 振替休日	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17
2/18	2/19 本会議 (議案上程)	2/20	2/21 本会議 (会派代表質問)	2/22 本会議 (会派代表質問)	2/23 本会議 (個人質問)	2/24
2/25	2/26 本会議 (個人質問)	2/27 本会議 (個人質問)	2/28 本会議 (個人質問)	3/1 予算審査 常任委員会	3/2 予算審査 常任委員会	3/3
3/4	3/5 予算審査 常任委員会	3/6 予算審査 常任委員会	3/7 予算審査 常任委員会	3/8 総務企画 常任委員会	3/9 文教福祉 常任委員会	3/10
3/11	3/12 建設経済 常任委員会	3/13	3/14 本会議 (議案の採決)	3/15	3/16	3/17
3/18	3/19 議会運営 委員会 正副委員長議	3/20 本会議 (議案の採決)	3/21 春分の日	3/22	3/23	3/24

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせください。